

議事録兼報告書

会議等名称	平成22年度 第1回 伊那市保育園運営協議会
日 時	平成22年 7月7日(木) 18:30~19:40
場 所	庁議室
欠 席 者	小原委員 向山委員
議 題	伊那市保育園運営の現状について
議 事 内 容	
<p>(文中敬称略)</p> <p>1 開 会 (部長)</p> <p>2 委嘱書交付 (伊那市長)</p> <p>3 あいさつ (伊那市長)</p> <p>前小坂市長も子育て支援については、市政運営の3本柱の1つとして取り組んできた。今後も、子どもの教育・子育て支援については力を入れていきたい。まず、保育園と小学校の連携。育ちは継続が大切と考える。また、木を使った教育を木育とし、試験的に3保育園で進める。読み聞かせの勉強も進んでいる。読み聞かせ方、良い本のリストアップも行なっている。自然体験も重要と考え、伊那のいい自然を活用していきたい。多くの経験を通して、学校に上がる前に力をつける保育を実践していく。そして、保護者が働きやすい環境のシステムを見直しなが進めていきたい。</p> <p>保育園運営は16億を超える予算となっている。いかに安い経費で効率よく成果をあげるか、また、公立のよい部分を生かしていけるよう、伊那市の子どもたちのために取り組んでいきたい。</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 会長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園運営協議会要綱第4条第1項の規定により、委員が互選する。 <p>会長に黒河内委員、副会長に上柳委員を提案し、委員の承認後決定する。</p> <p>(会長・副会長就任あいさつ)</p> <p>6 協 議 (進行: 会長)</p> <p>(1) 伊那市の保育園運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(資料No.1) 伊那市保育園運営協議会要綱 伊那市保育園条例 保育園運営協議会委員名簿 ・(資料No.2) ・H21 保育園運営の概要 ・園児数 ・地産地消の取組状況 ・保育園の畑作状況 ・保育園災害状況 ・(資料No.3) ・H22 保育園運営の概要 ・保育園月間目標 ・保育園食育年間計画 ・西箕輪地区新保育園配置イメージ図 平面図 立面図 ・滞納状況 目標 計画 <p>(事務局より資料説明)</p> <p><質疑・応答></p>	

(委員) 保育園の名称について、どこにあるかわかりづらいと感じる保育園名がある。わかりやすいように改正したらどうか。

(委員) 保育園名がどのような理由で決まっているかわからないが、子どもが呼びやすく、親しみやすい名前がいいのではないかと思う。

(会長) 名称がついた経過を次回会議で報告するよう求める。園児が呼びやすい通称名をつけたらどうか。たとえば長谷保育園のくじら保育園というように。

(→事務局) 西箕輪地区新保育園の名称は地元の方に決めてもらう。美篤や富県保育園も地元の方に決めていただいたが、わかりやすいという意味で、「美篤保育園」「富県保育園」となった。

(委員) 来年度からの保育園整備計画を策定するということが、保育園の統合は、地元の対応が重要となるが、具体的にどこまで決まっているか。

(→事務局) 具体的にはまだ決まっていない。伊那市全体を見据えた上で、10年間の整備計画を今年度策定したいと考えている。民営化も含めて検討し9月までには完成できるようにしたい。

(会長) 定員オーバーの保育園は保育士への負担が大きくなっていないか。

(→事務局) 市の配置基準を超えないかたちで保育士の配置がされているので、特に問題はないと思う。

(会長) 整備計画書を見る前に、統廃合をした園を見学したほうがよいのではないか。

(委員) 見学会をぜひ実施してほしい。園舎の見た目ではなく、保育の内容が重要。生きる力のある子どもを育てる保育ができるような視点が必要だと思う。

(会長) 平日の昼間となるので、参加できる委員で見学を実施する。

(委員) 他機関との連携とあるが、入園前に関わっている保健士との連携も大切ではないか。

(→事務局) 小鳩園が中心となり、3歳児健診等で気になる子どもの対応等を行い、連携をとっている。次回、組織図をお示しする。

(委員) 土と親しんだ子どもは小学校へ行ってもその体験が生きている。経験は大切。地域との繋がりも携わっているが、いろいろな体験をさせてあげられるように応援していきたい。

(委員) 年中の時に玉ねぎの苗を植えた。年長になり、「僕の苗大きくなった？」と聞いてくる姿が見られた。交流保育を通して地域とのつながりが強くなってきていると感じる。今後も関わってきたい。

(委員) 地域運営委員会のつながりが出来てきた。区長は1年ごと交代するがそれもいいと感じる。より多く保育園を知ってもらうように、また、さらに広く横のつながりを広げるために、地区回覧等を現場から発信してほしい。

(委員) 地区によっては、通知が多すぎて園からの通知を「回覧できない」と拒否するところがあったと聞いた。大人が変わる必要を感じる。

(委員) 読み聞かせに興味があり、新聞記事で見た読み聞かせ推進委員で作ったという「伊那市絵本指導計画」を読んだ。たいへんすばらしいもので嬉しく思った。

閉会